

HPVワクチンを受けた お子様と保護者の方へ

ワクチンを受けた後は、 体調に変化がないか 十分に注意してください。

もしも、気になる体調変化があった場合は、
このリーフレットを参考に、医師に相談してください。



当日

ワクチンを受けた後30分ほどは 座って様子を見てください。*

※きんちゆう極度の緊張や、強い痛みをきっかけに、生理的な反応として、
みやくはく脈拍がゆっくりになったり、血圧が下がったり、時に気を失うことが
あります。この反応を、けっかん めい そうしん けいほんしゃ血管迷走神経反射と言います。
通常、横になって休めば自然に回復しますが、
この時に、倒れてケガをすることがあります。



ワクチンを受けた日は はげしい運動はやめてください。

数日後 から 数週間後

気になるしやうじゆう症状が出たときは すぐにお医者さんや周りの大人に相談してください。

心配される症状を裏面に掲載していますので、参考にしてください。

ワクチンを受けても、子宮けいがんけんしん検診は必要です

ワクチンを受けた人も、20歳をすぎたら2年に1回は必ず検診を受けてください。
ワクチンで防げないタイプのHPV(ヒトパピローマウイルス)もあります。

以下のような症状が出たら、
ワクチンを受けたことを伝え
お医者さんや周りの大人に相談してください。



- 注射の針を刺したときに強い痛みやしびれを感じた
- ワクチンを受けた後に、注射した部分以外のところで痛みや手足のしびれ・ふるえなど気になる症状や体の変化がある

起こるかもしれない体の変化

よく起こるもの	<ul style="list-style-type: none"> ● 注射した部分の痛み、腫れ、赤み、かゆみ、出血、不快感 ● 疲れた感じ、頭痛、腹痛、筋肉や関節の痛み、じんましん、めまい
まれに起こるもの	<ul style="list-style-type: none"> ● 緊張や不安、痛みなどをきっかけに気を失う

サーバリックス®添付文書(第12版)
ガーダシル®添付文書(第5版)



まれですが、重い症状が出る場合があります。

- 呼吸困難、じんましんなどを症状とする重いアレルギー(アナフィラキシー)
- 手足の力が入りにくいなどの症状(ギラン・バレー症候群という末梢神経の病気)
- 頭痛、嘔吐、意識の低下などの症状(急性散在性脳脊髄炎(ADEM)という脳などの神経の病気)

▼ 痛みやしびれ、動かしにくさ、不随意運動について

- ワクチンを接種した方から、広い範囲に広がる痛みや、手足の動かしにくさ、不随意運動(動かそうと思っていないのに体の一部が勝手に動いてしまうこと)などを中心とする多様な症状が起きたことが副反応疑い報告により報告されています。(ワクチンを接種していなくてもこうした症状のある方もいますので、ワクチンによるものではない場合も含まれます。)

HPVワクチンに関する相談先一覧

接種後に、健康に異常があるとき

➡ 接種を受けた医師・かかりつけの医師、HPVワクチン接種後に生じた症状の診療に関する協力医療機関
※協力医療機関の受診については、接種を受けた医師又はかかりつけの医師にご相談ください

不安や疑問があるとき、困ったことがあるとき

➡ お住まいの都道府県に設置された相談窓口

HPVワクチンを含む予防接種、インフルエンザ、性感染症、その他感染症全般についての相談

➡ 厚生労働省 感染症・予防接種相談窓口

予防接種による健康被害についての補償(救済)に関する相談

➡ お住まいの市区町村の予防接種担当部門

厚生労働省のホームページでは、
HPVワクチンに関する情報をご案内しています。

厚生労働省 子宮けいがん

